

自他共栄

目指す生徒の姿

「主体的に考え 判断し
思いやりと勇気をもって行動する！」

住所：行方市南327の3

電話：0299-80-8070/FAX：0299-77-0840

◆ 50分,1本勝負！！ 授業について ◆ ～ よりよい授業を目指しています ～

今号では、先生方の授業づくりの裏側を紹介します。先生方は、生徒の皆さんが「授業が分かった」「自分の意見が発表できた」「友達の考えを知ることができた」「できないことができるようになった」などと実感できるように、日々授業づくりに励んでいます。授業のない時間や放課後、また休日にも授業づくりを行っている先生もいます。時には、50分の授業つくるために、A4版4ページにもわたる計画を作ります。さらに、作った計画で授業を行い、複数の先生方で参観、協議して更に計画を練り直すような作業をします。とても時間がかかります。先生方の「授業の腕前を磨きたい」という気持ちと同時に「生徒一人一人に確実に学力を身に付けさせたい」という熱意、情熱に支えられて、50分の授業がつくられているのです。毎日、授業に参加している皆さんは、先生方のこのような努力を肌で感じていると思います。

しかし、どんなに先生方が努力しても、よい授業にはなりません。よい授業は、先生だけでなく、生徒の皆さんと先生とで共に作り上げるものだからです。先生が一方的に説明し、生徒が静かに説明を聞いている授業は、よい授業とは言えません。自分やグループ、クラスの考えをつくり、練り上げ、洗練させて、自分たちで問題や課題を解決していく。そんな姿勢が大切です。そのためには、時には思いやり、時には勇気も必要になってくるでしょう。

教わることを待たず、自ら学び取り、創り出すそんな気持ちで授業に臨みましょう。

◆ 関東、県での活躍 ◆

科学の甲子園ジュニア*茨城県大会【県教育長賞】

〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんの6名が、鹿行地区24校参加の予選を通過し、地区代表として、8月27日（土）の県大会に出場しました。県大会には、水戸第一高附属中、江戸川学園取手中などの20チームが参加しました。難問が出題されましたが、力を合わせてあきらめることなく挑戦してきました。

※科学の甲子園ジュニア：理科、数学などにおける複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、科学の楽しさ、面白さを知り、科学と生活・社会の関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供しています。

第31回関東中学生選抜ハンドボール大会兼第31回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会関東地区予選会【男子、女子共に3位】

茨城県選抜男子チームに2年の〇〇さん、女子チームに2年の〇〇さんが選抜され、9月24日（土）・25日（日）に埼玉県で行われた関東大会に参加しました。茨城県選抜チームは男子、女子共に第3位となり、12月に徳島県で行われる全国大会に出場します。この大会は、将来のオリンピックや世界選手権で活躍できる有望選手の発掘をねらいとしています。〇〇さん、〇〇さんの今後の活躍が楽しみです。